

令和 2年度

事務事業評価表 ( 令和元年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 2 年 4 月 21 日

事務事業名		防犯施設整備事業			事業区分		担当	
					新規/継続	継続	事務事業No.	030202000690
					単独/補助	単独	所属課	030301
政策体系		政策体系上の位置付け					生活環境課	
総合計画の施策名		0302 防犯・消費生活対策の推進					課長名	
政策名		03 安全安心な暮らしのまちづくり					グループ	
施策名		02 防犯・消費生活対策の推進					市民活動・交通安全	
手段名		02 ②防犯体制と施設の充実					担当者名	
		財務会計上の位置付け			事業期間			
予算科目		一般会計			単年度繰返し (平成18年度~)			
01		02 01 00			防犯対策事業		期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
法令根拠 桜川市防犯灯設置要綱、桜川市防犯カメラ等設置管理要項								

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
市民が、安心して安全な生活を過ごせるため、また、地域の安全、犯罪未然防止するため、防犯灯及び防犯カメラを設置・整備する。 ・防犯灯の設置：区長からの申請により、必要箇所に設置する。 ・防犯灯の修繕：市管理防犯灯の修繕を行う。 ・防犯カメラの設置：要望等に対し、防犯カメラの設置を行う。 ・防犯カメラ保守点検：既存の防犯カメラの機能を維持するために保守点検を実施する。	【防犯灯、防犯カメラ設置工事】 ・防犯施設申請の受付 ・現地調査の実施 ・工事発注 ・工事完了検査 ・工事費の支払 【防犯カメラ保守点検】 ・保守点検委託契約 ・保守点検費の支払

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
防犯灯工事、防犯カメラの保守点検	市管理防犯灯の設置数	基	325.00	330.00	335.00	340.00	345.00
	行政区管理防犯灯設置数	基	3,802.00	3,832.00	3,862.00	3,892.00	3,922.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
市民行政区	人口	人	40,483.00	39,692.00	39,571.00	38,957.00	38,343.00
	行政区数	区	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
防犯上危険な場所を減らす。	市管理防犯灯の新規設置数	基	29.00	5.00	5.00	5.00	5.00
	行政区管理防犯灯新規設置数	基	78.00	30.00	30.00	30.00	30.00
	防犯カメラの新規設置数	箇所	6.00	2.00	2.00	2.00	2.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	期間限定 総投入量
		県支出金	千円	1,570	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	8,649	5,379	5,156	
		事業費計 (A)	千円	10,219	5,379	5,156	
		正規職員従事人数	人	4.00人	4.00人	4.00人	

事業費の内訳	01年度事業費 実績 (千円)			02年度事業費 予算 (千円)		
	11 需用費	1,824		11 需用費	1,787	
	13 委託料	243		13 委託料	484	
	15 工事請負費	3,312		15 工事請負費	2,885	
		合計	5,379		合計	5,156

事務事業名	防犯施設整備事業	事務事業No.	30202000690	所属課	生活環境課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
地域安全のために合併前から、地域の要望により町・村で防犯灯を設置していた。平成19年度に設置要綱を制定し、設置申請の方法、設置、管理の基準を定め統一し区長から推薦するようになった。平成26年度から新規防犯灯をLEDに統一した。近年犯罪の未然防止と犯人特定できる防犯カメラの需要が高まっている。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
地区より多くの設置申請があり、設置数に追いついていない状況である。 通学路の安全確保の観点から防犯灯設置の要望が増えている。 防犯カメラの犯罪抑止効果が高いことから、警察から設置要望がある。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 防犯灯を設置することにより、夜間暗いところが明るくなり防犯上、市民が安心して暮らせる環境づくりの政策体系に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 防犯灯は道路上に設置するため、歩行者や通学路、市民が利用するものであり公共性があるため妥当である。
有効性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 防犯灯は区長と、防犯カメラは警察等と協議のうえ、最高の効果が得られる場所に設置している。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民が安心して暮らせる環境づくりの政策体系の公共性が高い事業のため、廃止・休止はない。
効率性	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 事業として独立しており、類似する事業、連携の可能性もない。
	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 市は防犯灯の支給だけとして、設置工事は各地区に負担してもらうなど、防犯灯設置工事に係る事業費及び業務時間を削減する余地がある。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 道路へ防犯灯設置しており、市民及び道路利用者の安全確保であるため公正かつ公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	防犯灯設置工事費及び防犯灯設置工事に係る事務量を削減するため、新規設置方法の見直しが必要である。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 新規設置方法の見直しを検討する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ③																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>